

【刈谷市】
ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

- ・対象学校数 21校（小学校15校、中学校6校）
- ・ネットワーク速度が確保できている学校数 21校中20校
- ・総学校数に占める割合（％） 95％

2 必要なネットワーク速度の確保に向けた計画

（１）課題特定のスケジュール

ネットワークアセスメントとしてセルフチェック（帯域測定及びユーザー体感調査）を実施済み

- ・令和4年度 集約SW直下での有線帯域測定を実施

安全度・利用頻度の高いサイトについては、UTMのSSLインスペクションを無効としており、推奨帯域より高い結果となった。一方で、SSLインスペクションを有効としているその他のサイトでは、推奨帯域より低い結果となった。

- ・令和6年4月から6月 トラフィック流量の確認

市内全小中学校のトラフィック流量を確認した際、大半の学校における最大トラフィックは、当面の推奨帯域を満たす結果となったが、小学校1校において、推奨帯域に満たなかった。当該事象については、トラフィック流量のピーク値が断続的に推奨帯域へ到達していないことを確認できなかったため、当面の推奨帯域を確保できていないとは判断できなかった。これらのことより、解決すべき課題のひとつとして把握することとした。

- ・令和6年7月 ユーザー体感調査を実施

タブレット端末でインターネット通信が遅いと感じることがあるユーザーが70％でそのうち約50％が週に数回の頻度で遅いと感じるといった回答であった。

（２）課題の解決の方法と実施スケジュール

令和7年度のUTMの更新に伴い、セキュリティ性能の強化を図る。具体的には、SSLインスペクションの性能が高い機器に更新することにより、現在、推奨帯域を満たしていない、SSLインスペクションを有効としているサイトについても帯域を満たすことが期待できる。

さらに全ての暗号化通信を復号していると将来の通信量増加の際にパフォーマンスの低下は避けられない。暗号化通信を復号しない脅威検知機能の活用検討を行い、速度低下の抑止に努める。